

令和8年度 学校経営シラバス

北海道上士幌高等学校

めざす学校像		めざす生徒像	
1	教育的愛情を持ち、生徒一人一人の成長を応援する学校	1	自分の将来のために努力する生徒
2	地域とともに歩み、社会に貢献する学校	2	問題・課題を自ら解決する生徒
3	ビジョンを共有し、協働して課題解決に取り組む学校	3	自分の意見や考えを伝えることができる生徒
		4	持続可能な社会の創り手となる生徒

職	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
学 校 運 営	信頼される学校づくり	○開かれた学校づくり ○選ばれる学校づくり ○安全・安心な学校づくり	①教育活動に関わる情報発信 ②保護者や地域との連携 ③危機管理に関わる組織的な対応	①積極的な情報提供により説明責任を果たしたか ②保護者や地域と連携しながら教育を進めたか ③危機管理上、組織的かつ迅速、適切な対応ができたか ④日常的な施設設備の点検や安全確認ができたか
	組織運営	○学校課題の共有と課題解決に向けた協働体制の確立	①情報の共有化と連携 ②組織的かつ効率的な業務推進	①報告・連絡・相談の質を高め、連携のために自ら行動するなど組織力の向上に貢献したか ②日常的に迅速な評価・改善を行ったか ③組織改善や業務の効率化のため主体的に行動できたか
	教職員の資質・能力向上	○生徒の特性や個性を理解し個に応じた指導を実践できる教職員集団の形成	①研修の充実 ②人事評価制度及び研修履歴の活用 ③服務規律と法令遵守の徹底	①自己の資質・能力向上に係る目標を定め、管理職の面談や授業参観等も活用しながら、研修を進めることができたか ②教育公務員として使命感や責任感を持ち、信頼に足る言動であったか

教 育	学習指導	○生徒個々の特性に応じた学ぶ力の育成	①基礎基本を重視し、学ぶ力を育む学習指導 ②学力（三要素）をバランスよく育成する授業実践・授業改善	①授業規律に係る指導を徹底し、生徒に学ぶ姿勢や学び方を身に付けさせることができたか ②学習指導の改善に努め、生徒の学習意欲を引き出す指導ができたか ③「何ができるようになり」「どんな力を身につけさせたいか」を明確にし、生徒の自己評価能力を高めることができたか
	生徒指導	○生命の尊厳と多様性の尊重に基づく、人間性豊かな心の育成 ○規範意識や社会性の育成 ○主体性や自己の可能性を高める力の育成	①自己管理能力と規範意識を高める生徒指導 ②多様性を理解させ思いやりの心と協調性を育む生徒指導 ③主体的に取り組む姿勢の育成 ④生徒の特性に応じた適切な生徒支援と生徒の視点に立った教育相談の充実	①生徒自らルールやマナーを守る意識を高めることができたか ②生徒が自己肯定感を高め、他者を尊重する精神や自ら良好な人関係を形成しようとする姿勢を育むことができたか ③行事や生徒会活動、部活動などにより、生徒の主体性や社会性を育成することができたか ④生徒の状況を的確に把握するとともに、迅速に情報共有し、問題行動やいじめの未然防止や適切な初期対応をとることができたか ⑤生徒の変化に気づき、適宜面談するなど生徒理解に努めたか
活 動	進路指導	○個々の生徒に目を向けたきめ細かな進路指導の充実 ○キャリア教育の充実	①体系的・組織的な進路指導の充実 ②社会人としての基礎的・汎用的能力の育成 ③進路実現に向けた自主的、積極的な学習態度の育成 ④企業や大学等と連携したキャリア教育の実施	①目的や計画を共有し、生徒の進路意識を高める進路指導が行えたか ②将来を見つめ、自分の未来を切り拓くために積極的に取り組む姿勢を育むことができたか ③資格取得、インターンシップやオープンキャンパスへの参加、情報収集など積極的な行動が見られたか ④企業、大学等と連携したインターンシップ等の企画・調整ができたか
	健康・安全指導	○健康の保持増進及び美化意識、安全意識の醸成	①自己の健康管理能力の育成 ②環境美化意識の醸成及び危機管理能力の育成	①生徒が自ら心身の健康の保持増進を図ることができたか ②生徒が日常的に安全に留意し生活を送っていたか ③校内内外の環境美化が維持されていたか